

## ～南海トラフ巨大地震への備え～（10/13は国際防災デー） 命を守る！塾で学ぶ防災訓練！避難経路の確認&非常食の試食会 明光義塾「有松駅前教室」（名古屋市内）にて開催

個別指導の「明光義塾」を運営する、株式会社明光ネットワークジャパン（本社：東京都新宿区）は、2025年10月3日に有松駅前教室（名古屋市緑区鳴海町）で、名古屋市緑消防署の協力のもと、南海トラフ巨大地震の発生を想定した防災訓練を実施しました。授業中の大規模地震発生を想定し社員と講師が生徒の命を守り、避難場所（東丘小学校）まで安全に誘導することを目的として、図上訓練と実践訓練を組み合わせた総合的な防災プログラムを行いました。本取り組みは10月13日の「国際防災デー」にもつながる地域連携型の防災教育活動です。



### 防災訓練実施の背景（10/13は国際防災デー）

日本は地震が多発する国であり、過去の大地震においても教育現場での迅速な対応が求められてきました。当社は、個別指導塾「明光義塾」を全国に展開しており、多くの生徒が教室に通っています。そのため、万が一の災害時に、生徒を安全に避難させるための適切な対応を学ぶことは、教室スタッフにとって重要な責務です。有松駅前教室での防災訓練は、10月13日の国際防災デーに合わせて実施いたしました。

実際の地震発生時に迅速かつ的確な行動ができるよう、教室長・講師が防災意識を高めること。また講師や教育責任者が生徒の安全を守る役割を担うため、危機管理マニュアルを活用し、知識と意識の向上を図ることを目的としています。

### 『明光義塾防災訓練』概要（参加人数：教室長・講師 22名）

- ◆開催日時：2025年10月3日（金）10:00～11:30
- ◆開催場所：明光義塾有松駅前教室 名古屋市緑区鳴海町有松裏26番地6 リバティー有松1階
- ◆スケジュール：
  - ①10:00～11:00
    - ◆消防署員による地震発生時の一次対応を想定した講義とグループワーク
    - ◆災害発生時の注意事項のレクチャー  
(例：SNSからの正しい情報収集、フェイクニュースの見分け方等)
  - ②11:00～11:15 避難場所(東丘小学校/徒歩3分程度)まで歩く
  - ⑤11:10～11:30 非常食の試食体験

授業中の緊急地震速報受信を想定し、初期対応から安否確認、負傷者対応、避難誘導までを段階的に検討。参加した講師たちは、緊急時に生徒を守る立場として、各自の判断や行動手順を意見交換形式で整理しました。訓練では「まず自分自身の安全確保が最優先」という原則が共有され、講師が冷静さを保つことが生徒の安心につながるという意識を高めました。

講師である名古屋市緑消防署の小塚消防司令補は、緊急地震速報の信頼性や教室内の危険箇所、避難経路上の留意点について具体的な指導がありました。特に「速報が鳴ったら最大限の警戒を」「まずはパニックにならないこと」「ドアは早めに開ける」といった即応的な行動の大切さが強調されました。プリンターや本棚などの固定の必要性、ガラス飛散による二次被害防止策など、日常点検の重要性も改めて確認されました。



災害時の情報収集については、SNSの利点と課題が議論がなされました。自治体の公式アカウントや防災専門アプリが有効な情報源として紹介される一方で、アクセス集中やバッテリー消耗のリスクも指摘がされました。参加者からは「正確な情報収集と電源確保の両立が重要」との意見が出るとともに、講師からはモバイルバッテリーやLED懐中電灯の常備を呼びかける声もあがりました。避難行動では、障がいのある子どもへの配慮が重要視されました。パニックを防ぐための「安心させる声かけ」や「建物の安全性を伝える」など心理的支援の大切さが確認され、車椅子利用者には個別の避難経路確保が必要とされました。実践訓練では、緊急地震速報を合図に机の中に身を守る訓練、安否確認、ヘルメット着用での避難行動を実施しましたが、実際に戸惑う場面もあり、体験を通して改善点が明確となりました。この度の訓練を通じて、講師一人ひとりが「守られる側」から「守る側」へ意識を転換し、冷静な判断と行動力を養う契機となりました。明光義塾では今後も防災教育と地域連携の啓発活動を続けてまいります。



### 東海・北陸カンパニープレジデント 松尾圭一のコメント

2024年1月1日の能登半島地震で、七尾市にある明光義塾の復旧作業にたずさわりました。不幸中の幸いで地震発生時には生徒がいなかったのですが、現地に行ったときには地割れがあり、水道は止まりと大変な状態だったことを記憶しています。もし生徒がいるタイミングであつたら非常に不安になるだろうなという風に思ったことを思い出します。明光義塾は、子どもたちに学ぶことの楽しさや勉強への取り組み方を指導させていただいております。それが普段通りできるのも通塾してくれる子どもたちの「安心・安全」があるからこそだと思っております。保護者の皆様にお子様を安心してお任せいただけるように今回は防災訓練を実施しました。将来的に起こる可能性が高いとされる東南海トラフ地震に備え、職員の適切な対応を再度確認しました。消防署の方々からの貴重な指導を受けることで、社内マニュアルだけではわからない意識の甘さや改善点を見出すことができました。今後は地震だけでなく、様々な災害リスクに対しても再確認を行い、保護者の皆様やお子様が安心して通える環境づくりに努めてまいります。明光義塾は、教育だけでなく安全面にも配慮し、地域社会に貢献してまいります。

#### 【本件に関するお問合せ先】

明光ネットワークジャパン 渉外・広報担当：石田

Mail: pr@meikonetwork.jp